教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和
編集人 西嶋保子
電話 050（3538）2346
1部15円 年定価360円（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2017/8・1
No. 1934
2面
・日教組第106回定期大会

「組合とは、10年先を自分たちでつくっていけるところ」

― 第45回兵庫県学校事務研究集会 ―

7月25日から26日にかけて、ラッセホールで第45回兵庫県学校事務研究集会が開催され、県内各地より延べ約600人が参加した。

『子どもの学習権保障をめざす学校事務の創造』～豊かな教育の創造をめざし、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、職務の確立をすすめよう～をテーマに、日教組事務職員部長の薄田綾子さんによる中央情勢報告と、兵庫教育文化研究所 学校行財政部会 研究所員の奥谷達哉さんによるリポート報告の後、3つの分科会にわかれて討議がおこなわれた。

中央情勢報告

～私たちをとりまく諸課題について～

日教組事務職員部長　薄田綾子さん

17年度の教職員定数関係では、本年度も「事務機能の強化」として50人の事務職員加配があった。

次に、退職手当について、人事院は、官民均衡の観点から給付水準を見直すことが適切であるとしている。

さらに、人事評価制度については、まじめにやってきた人がきちんと評価されなければならないということを強調した。

政令市への権限移譲については、移譲後の級の格付けや任用一本化について全国の動きが報告された。

定年延長についても、希望する職員を再任用することで雇用と年金の接続をはかるという現行制度の中、日教組は、「今後も多様な働き方を可能にする条件整備をもとめていく」とした。

その他、就学・修学保障や高等学校等就学支援金制度、次期学習指導要領改訂や全国学力・学習状況調査に対する日教組のとりくみ等々を報告。

最後に、この3月に改正された事務職員に関係した一括法について、学校教育法では「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に改正されたが、もともと国だけがそうなっておらず、各自治体の実態が法律を動かしたようなものであるということ、地教行法においては「共同学校事務室を置くことができる」となったが、「これはあくまでも事務職員の非常勤化や引き上げにつながるものではないことや、教員の仕事を肩代わりするものではないということを国と確認している」という報告を受けた。

参加者からは「政治のあり方が教育に大きく影響するということがよくわかった」「『組合とは、10年先を自分たちでつくっていけるところ』という言葉が響いた。組合加入して20年経つが、先を見据えて行動しなければならないと思った」といった感想が寄せられた。

リポート報告

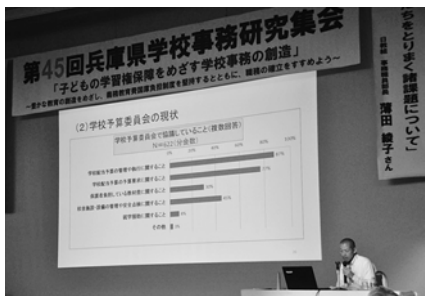
『子どもの教育と学校予算』

兵庫教育文化研究所 学校行財政部会 研究所員　奥谷達哉さん

昨今の「子どもの貧困」や「就学援助家庭」といった、経済的背景から家庭環境で非常に厳しい現実をかかえている子どもたちに対して、どのように向き合えばよいのかを考えた時に、「すべての教職員が学校予算を知り、積極的にかかわることで、『子どもたちにとってよりよい教育環境』をつくりだせる」という強いメッセージを発信する必要があるとの考えに至ったと話した。

まず、「学校予算」とは、学校に配当され、学校で執行する「公費」と保護者が負担している教材費等の「私費」を合わせたものとして定義をしている。

また、実際に学校に配当される予算のしくみについては、15年度に、県内7市における教育費の実態、学校配当予算の決め方や学校における予算執行の現状、さらには、学校徴収金や就学援助について調査した。その中で、やはりすべての教職員が学校予算にかかわり、保護者負担の軽減につなげていくとりくみの必要性が具体的に報告された。



次に、限られた学校予算を有効に使い、よりよい教育環境をつくるために、教職員どうしの話し合いの場の必要性が話された。また、その一つである「学校予算委員会」について、県内の現状を調査・考察する中で、その定義やモデル案が示された。単に開催が目的ではなく、よりよい教育環境づくりをすすめるための手段として、教職員個々の判断ではなく、年間を見通しすべての教職員の共通理解のもとですすめていくことが大切だと指摘した。

教員がはたすべき役割として、学校予算を知ることや配当予算や学校徴収金、就学援助へのかかわり方などについて具体的に示す一方、学校事務職員が果たすべき役割として、学校予算の把握や運営、教育課程へのかかわり方などについても具体的に示した。

さらには、家庭とかかわることで学校徴収金や就学援助への対応ができ、地域とかかわることで地域を生かした教育環境づくりが生まれ、地域組合や研究団体、地教委といった関係機関ともかかわることで具体的な予算拡充運動につなげられるとした。

おわりに、「子どもたちのそばにいる私たちすべての教職員が協力・協働して教育条件整備にとりくんでいくことで、保護者負担の軽減や学校配当予算拡充運動へ発展・継続することを期待する」と締めくくった。

参加者の感想には「学校予算の公費と私費のバランスを考え、保護者負担減など事務職員として全体をみて予算を考えることの大切さを感じた」とあった。

大きくなあれ

たつの市立西栗栖小学校　一年　西岡　龍星

みつけたたねは　まあるくて
いろは　ちゃいろとまっくろで
ころころころころ　ころがって
とても　とても　かわいいよ
土にまいて　ひりょうをあげて
まいにち　お水をあげてると
ハートのかたちのめがでたよ
おもたい土のふとんから
小さな　小さな　めがでたよ
さわってみたら　やわらかい
ふにゃ　ふにゃ　ふにゃと
あかちゃんのほっぺみたい
どんなはなが　さくのかな
いつになったら　さくのかな
だいじに　だいじに
そだてるよ
これから　まいにちいうからね
「ぼくのあかちゃん、
はやく大きくなあれ。」

「かまきりと遊んだよ」
新温泉町立温泉小学校　三年
西村 樹

（こどもの詩と絵　第37集より）

ブッフェ形式にすると、料理が一品(おまかせ)追加でさらにお得に！ ▶ お料理＋フリードリンク

納涼の宴（うたげ）
お一人様（税金・サービス料込）5,000円
卓盛りメニュー
- 烏賊と焼き茄子のマリネ
- モッツァレラチーズ、トマトのカプレーゼ
- 鮪の炙り薄造り　梅肉醤油
- サーモンコーンクリーム焼き
- 釜揚げ鶏の葱ソース添え
- じゃが芋饅頭　そぼろ餡かけ
- ライスコロッケ　トマトソース
- 冷やしとろろ蕎麦
- フルーツ（ブッフェコーナーにてご提供）
- 甘味デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
- コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

夏の宴会プラン　Aプラン又はBプランよりお選びください。
お一人様（税金・サービス料込）6,500円
卓盛りメニュー

A. 和洋中料理
- 冷製ロワイヤル　イクラ飾り
- 鱧の湯引き　梅肉醤油
- ロースポークしゃぶしゃぶ冷製サラダ
- 夏野菜と鶏ささ身のバジル炒め
- 魚介類のアヒージョ　バケット添え
- 牛肉ステーキ　ラタトゥイユとクレソン添え
- 茄子の挟み揚げ麻婆餡かけ
- にぎり寿司三種
- 冷やし素麺
- フルーツ（ブッフェコーナーにてご提供）
- 甘味デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
- コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

B. 和食料理
- 季節の胡麻豆腐
- 牛肉の炙りたたき風　ぽん酢
- お造り二種盛り合せ
- じゃが芋饅頭　鹿の子揚げ
- 鱧のけんちん焼き
- 若鶏と夏野菜塩炒め
- 焼き茄子と豚竜田の餡かけ
- サラダ巻き寿司と押し寿司
- 冷やしおくらとろろ蕎麦
- フルーツ（ブッフェコーナーにてご提供）
- 甘味デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
- コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

プラス

フリードリンク
- 瓶ビール
- 焼酎（芋/麦）
- ウィスキー
- ハイボール
- 赤/白ワイン
- 日本酒
- ウーロン茶
- オレンジジュース

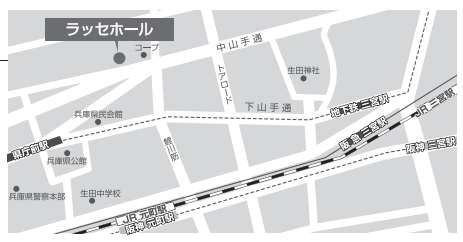
※記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたしますのでご相談下さい。

注意事項
※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。　※料金には、お料理、フリードリンク、音響・照明費（ワイヤレスマイク2本付）、会場費（2時間）、税金、サービス料が含まれております。　※ご延長の際は30分につきお一人様500円（税金・サービス料込）の追加料金をいただきます。
※当日キャンセルの場合は、全額キャンセル料としていただきます。　※当日にご利用人数が増えた場合は、別途料金を頂戴いたします。

その他、オプション等、多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合わせはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土　9:00～19:00　日・祝　9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10－8
TEL.078-291-1117（代表）
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com



日教組第106回定期大会

分会、地域組合のとりくみが、兵教組、日教組へとつながり、大きな力に

7月15日から2日間、東京・日本教育会館において、日本教職員組合第106回定期大会が開催された。

冒頭、兵教組出身の泉雄一郎日教組中央執行委員長は、九州北部豪雨被害についてお見舞いを述べ、弔意を示した。

そして、「教育と民主主義」、「学校現場における『働き方改革』」、「組織の拡大・強化」について語り、憲法とともに歩んだ70年の日教組運動を強化する決意を述べた。

兵教組からは、代議員として11人が参加。うち、兵庫教育文化研究所の大野圭一事務局長は、「地域・学校現場に根ざす」をキーワードに、兵庫における教研活動について討論に立った。

大会では、職場を原点に未来につなげる運動をすすめることが確認され、「ゆたかな学びを創造する学校づくりにむけた特別決議」、「教職員の長時間労働是正、ワーク・ライフ・バランスを実現し、生活時間を取り戻す特別決議」、「『教え子を再び戦場に送るな』の不滅のスローガンのもと、憲法理念の実現をめざす特別決議」などが、絶対多数で承認され、また、「第106回定期大会大会宣言」も採択され閉会した。

兵教組の組合員代表として参加した、代議員の声を掲載する。

大野 圭一（本部）

討論で強く印象に残ったことは、超勤、多忙化に関する討論の多さと、被災地からの発信だった。直近の福岡・大分豪雨の報告はもちろん、熊本・東北からも「まだ終わっていない」と未だ苦しい状況が報告され、継続した支援の必要性を痛感した。

日教組執行部の答弁からは、私たちの運動は確実に国とつながっていることが感じられた。特に山木中央執行委員からは、小学校外国語の導入にあたっての文科省とのやりとりの話があり、この動きを支えるため兵庫も更にとりくまねばと実感した。

討論に参加する機会を得て、兵庫の教研活動の充実は、各地域組合および研究所各部会の着実なとりくみがあってこそ、ということを全国のみなさんに知ってもらえたかと思う。この地道で大切なとりくみを語り継ぎ、継続していこう。

山根 昌晃（姫路）

第106回定期大会に、日本全国から200人を超える代議員が集まった。それぞれの発言の地域性、特徴のあるイントネーションを耳にすると、ここには日本各地からそれぞれの地域の組合員の思いを背負って集まっているのだという、当たり前のことを再確認した。

粂田 憲彦（宝塚）

初めて大会に参加した。各都道府県教組の実情やとりくみ、思いを聞きながら、全国各地で同じように悩んだり、考えたりする人がたくさんいることを実感した。現場にいるだけではわからなかったであろう国の情勢や各課題解決にむけて、執行部の方々を中心に交渉を続けていることに感謝したい。全国の方々の熱い話を聞き、刺激になった。

浦川 大樹（多西）

討論の中で、長時間勤務などの実態は、全国的な課題であると再認識した。また、米軍基地問題、原発問題、震災からの復旧など地域独自の課題を具体的に知ることもできた。

署名・カンパといったとりくみが、全国の仲間や子どもたちにとって意義のあるものと改めて感じた。

仲間とのつながりを大切にし、今後も兵教組の活動にとりくんでいきたい。

村尾 克彦（美方）

各県からの生の声を聞き、とても貴重な経験となった。九州豪雨で、大分・福岡は全国から注目されている。

一方、昨年の熊本地震について、人々の意識の中から薄れてしまったのは事実だった。今回、熊本県教組から、「現場はまだ何も復旧できていない。心のケアを必要としている子どもや教員は増えている」という話を聞き、改めて全国連帯での支援が必要であることを再確認した。

また、兵庫の当たり前は、全国では当たり前でない県も多くある。これまでの兵庫の歴史、とりくみについても再確認する機会となった。

「がんばった自然学校」
丹波市立崇広小学校　五年
本田 琴香
（こどもの詩と絵　第37集より）

中森 慶（多紀）

質疑・討論において、日本中のいろいろなとりくみを聞き、厳しい現状も知ることができた。

小さな分会、地域組合のとりくみが、兵教組・日教組へとつながり、大きな力となる。勤務時間の適正化、次期学習指導要領など、課題はたくさんあるが、組合活動の見える化を意識し、地域組合に戻って、とりくんでいきたい。

組織の拡大、強化にむけて、自分のできることを少しずつしていきたい。

長尾 通稔（南あわじ）

初めて大会に参加した。泉中央執行委員長の開会あいさつの内容に、兵教組の思いを感じた。また、兵教組の代議員数の多さから、全国の中での存在感の大きさも感じた。

全国の単組の討論において、組織拡大、権利、給与など、兵庫で当たり前のことが、当たり前ではない地域がたくさんあることを改めて実感した。

子どもたちのために、我々現場で働く仲間のために、そして、家族と自分のために。兵教組を、地域組合を支えていかなければならないと決意するいい機会になった。みなさん、共にがんばろう。

自動車共済 2017年9月1日より**制度改定**します！
教職員のための共済だから！

■通勤中の事故は等級ダウンなし！　NEW
※補償充実コース・6等級以上で1共済期間中1回限り
※既契約に対しても、9月1日以降適用となります

■公務使用中の事故も等級ダウンなし！
※全コース・全等級に適用

■事故有係数使用の等級割引制度不採用！
多くの損害保険会社や共済で導入されている
「事故有係数」を使用した等級割引制度は採用していません。

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

あんしんむすぶ
教職員共済
資料請求・お問い合わせは▶
教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所
〒650-0004
神戸市中央区中山手通4丁目
10-8 ラッセホール4F
電話（078）221-9730
FAX（078）221-1199
承17-56-01（1707）